

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社アグリファーム未来

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																													
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17													
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内にて共有、実践している。	●		毎年の経営目標を従業員に共有し、途中経過も共有することにより全従業員が目標に対して共に取り組むような環境づくりを心掛けている。												8	9														17			
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		就業規則を作成し、全従業員の分かる場所に保管し内容の理解、周知をしてもらっている。																									16					
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		不正競争行為禁止の重要性を理解し、公正な取引に努めている。																10									16					
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		取引先と協力し環境に配慮した事業を行う体制がある。																									16					
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		社内教育を通して、営業秘密等を含む知的財産保護教育を行っている。													8.2 8.3	9																
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		管理方法を一元化し漏洩のない様に努めている。																									16					
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		定期的にコミュニケーションを取り、お互いにバランスの良い関係が保たれるよう連携している。																								16	17					
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5								8		10			12	13	14	15	16	17							
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●																				11		13.1					16	17				
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		講習会の参加や県主催の農業経営塾への参加をさせている。													8	9												17				
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●								1	2							8						12	13	14	15	16	17					
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		外国人技能実習生に関しては、共同組合の雇用条件や就業規則に基づいて運営している。日本人スタッフに関して雇用条件や職場環境において差別のない体制や運営を行っている。							4.3 4.4 4.5		5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3									16.1 16.2 16.7						
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		事故の無いよう注意し、スタッフともコミュニケーションをとり無理なく働くことのできる環境づくりを心掛けている。														8.8																
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		従業員(正社員・パート・外国人技能実習生)の公正な待遇を行っている。														5.5																
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		残業も含めた時間管理の徹底や、スタッフの体調や家庭環境に配慮した労働環境・職場環境に努めている。																8.5 8.8								10.2 10.3						
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		講習会の参加や県主催の農業経営塾への参加をさせている。														4	5.5		8	9												
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		定期健康診断・ストレスチェックを実施し、従業員及びその家族が心身に健康でいられるような労働環境や職場環境作りに努めている。																3										17				
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		外国人技能実習生に関しては、共同組合の雇用条件や就業規則に基づいて運営している。日本人スタッフに関して雇用条件や職場環境において差別のない体制や運営を行っている。																4.4	5.1 5.5									10.2 10.3	16.7			
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議を導入している。	●																			3								8	9.1		11	12	
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●																												8	9.1		11	12
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●																																12

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社アグリファーム未来

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。


















(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		自社で出た廃棄物、有害化学物質は適切に処理している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		毎月のエネルギー使用量を確認しており、LEDへの切り替えや節電を徹底している。							7.3							13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		【予定】2022年10月から、CO2排出量計算アプリ(keisan)を活用し、排出量の把握と削減に取り組む。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4		13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		ゴミを出さない取組みとして、一部の売り先は段ボール出荷を極力控えコンテナ出荷にさせてもらっている。コンテナ出荷に切り替える事でバック、セロハン、段ボール、梱包バンドなどのゴミを出さずに出荷する事が出来ている。						6.6									14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		コンテナ出荷をする際、納品時に前回のコンテナを回収しており、ゴミを一切出さずに商品の納品を行うことが出来ている。									9.4			12.2 12.4 12.5			14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		農業は、水資源が重要であることを理解し、その保全のため、社員全員で節水に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5				14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		コピー用紙等の紙の利用は、再生用紙利用を推進している。一度使用したコピー用紙の裏紙でメモ帳を作り再利用している。									9.4			12.4 12.5		13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		自社で生産しているイチゴやサツマイモの規格外品(本来であれば捨てる物)を使い、加工用として販売している。	1	2				6.4								12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●														11.6 11.7			13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5			13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6			9.4			11.3 11.4 11.5	12.2		13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2		13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●															12.2 12.5			14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4		11.2			13.1 13.3				
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.6 11.a	12.8		13				17.2	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社アグリファーム未来

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。
 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
																										
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		栽培に関して品質向上を図る為に勉強会に参加している。農協の指導課の方ともこまめに情報を取り合って安定した品質の保持、向上に努めている。			3.9						9			12.4									
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		障がいを持った方や高齢者の方でも安心して歩行できるよう作業場や事務所周辺には段差を無くしている。車椅子でも大丈夫なように傾斜なども解消している。									9.1	10	11.7										17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	本農園では、イチゴの栽培を主としており、地産地消を推進する中で、県内の飲食店や市場に出荷している。			2.3 2.4				7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15					17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15						
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	自社で生産しているイチゴやサツマイモの規格外品(本来であれば捨てる物)を使い、加工用として販売している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4					8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15						17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		毎年地元の保育園を招待してイチゴ狩りを開催している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		地元消防団に所属しているため毎月の点検、訓練を通して万が一に備えて必要な準備をしている。集合場所を決める、避難する際の安全なルートなどの周知の徹底をしている。				4						11.5		13.1						16			
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4							10.2	11.5		13.1					16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1								
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●					4				8.6		10.2											17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4				8.5 8.6													17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●	毎年地元の保育園を招待してイチゴ狩りを開催している。			2		4.3 4.4 4.5			8.6		10.2		12	13	14	15					17	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。